

平成21年5月13日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520116

研究課題名（和文） 近世初期読本における説話的背景と思想的基盤の研究

研究課題名（英文） Research of The Story and The Thought on KINSEI-SYOKI-YOMIHON

研究代表者

湯浅 佳子（YUASA YOSHIKO）

東京学芸大学・教育学部・准教授

研究者番号：00282781

研究分野：日本文学

科研費の分科・細目：近世文学・近世小説論

キーワード：日本文学 説話・伝承 思想・宗教 読本 仮名草子

1. 研究計画の概要

日本の近世期、寛延から寛政年間（1748～1800）に、江戸と上方で刊行された初期読本を、（1）儒学・国学的思想の享受としての面から、（2）説話の享受としての面から分析し、読本の成立基盤を明らかにしようするのが本研究の目的である。上方読本の都賀庭鐘・伊丹椿園・建部綾足・上田秋成の作品、また山東京伝や曲亭馬琴の文化5年刊頃までの読本作品の世界の背景を考える。上方と江戸の作品に（1）（2）の面においてどのような差異があるのかに留意しながら、仏教長編小説、怪談集、通俗軍談物、通俗白話小説翻案集、浄瑠璃・歌舞伎作品、談義本、啓蒙書、雑史、儒学・国学の書等の作品との影響関係を調査する。特に、文芸作品にも大きな影響を及ぼした仏書や勸化本、三教一致思想の書からの影響や、教訓・説話的要素の濃厚な仮名草子と談義本との係わりについて、諸作品の書誌的調査も含めてデータを収集し、考察していく。

2. 研究の進捗状況

(1) 平成18年度

国立国会図書館をはじめとする諸図書館蔵の読本類の書誌調査と内容調査を行い、書誌的事項と目録のデータベース化を行った。また、全集や雑誌に翻刻された作品について、内容調査を行い、関連する研究論文の収集と内容分析を行った。初期読本から後期読本へ展開する時期の作品類、特に山東京伝と曲亭馬琴の初期作品を中心に、初期読本からの影響関係を考察した。

(2) 平成19年度

前年度に引き続き、諸図書館所蔵の読本の書誌調査とそのデータベース化の作業を行った。調査対象は、京都大学図書館、広島大学図書館所蔵本で、主に初期読本から後期読本隆盛までの時期にあたる、寛延から文化年間（1748～1817）の上方・江戸読本の書誌調査を行い、体裁と内容の面における様式の変遷を考察した。

(3) 平成20年度

初期読本作品に影響を及ぼしたと思われる先行作品群について、書誌調査とデータベース化を行った。特に読本の内容世界の基盤を形成したと思われる近世前期に成立・流布した作品群に焦点を当て、内容上の特徴と初期読本を含めた後世文芸作品への影響について考察した。具体的には、寛文三年刊の怪談集『曾呂里物語』から寛延二年頃成立の怪談集『因幡怪談集』、明和九年刊の怪談集『怪談記野狐名玉』、宝暦十一年刊の仏教長編小説『勸化西院河原口号伝』への影響について考察した。また『曾呂里物語』の本文翻刻および書誌調査を『仮名草子集成』第45巻にて行った。書誌調査については、大谷大学図書館、龍谷大学図書館、西尾市岩瀬文庫所蔵の長編仏教小説、雑史、軍書、実録、仏教説話、教訓書、仮名草子作品について行った。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

書誌調査およびデータベース作成については、読本に限らず、近世初期から文化文政期までの、談義本・仏教説話・教訓書・儒書・史書を含めた作品について調査収集中であ

る現在 2000 点ほどの作品について入力した。書誌については、各図書館・文庫所蔵の作品およそ 300 作品について調査を行った。

作品の内容分析について、まず読本については、特に初期の江戸読本の山東京伝、曲亭馬琴の読本を中心に考察を行った（『旬殿実実記』と『南総里見八犬伝』、『南総里見八犬伝名場面集』、『読本事典』）。

読本以前の作品については、草双紙の読本との関わりについて考察した（『草双紙事典』）。また近世初期怪異物語から読本への影響について考察した（『曾呂里物語』二話）、「怪異説話の展開」、「曾呂里物語」の類話）。

4. 今後の研究の推進方策

初期読本の成立の基盤となる近世中期・前期の諸作品についての書誌および内容調査を行い、初期読本への影響を考察する。特に思想的・説話的影響が大きいと考えられる歴史書、儒学書、仏書、仮名草子のジャンルに注目し、作品の出版年表と書誌のデータベースを作成していく。書誌調査は京都大学図書館、西尾市岩瀬文庫、東北大学附属図書館、天理図書館所蔵作品を予定している。内容分析については、初期読本に先行するジャンルの説話的・思想的変遷について考察する。具体的には、説話文芸や仏教説話からの影響が顕著な曲亭馬琴・山東京伝の初期の読本や、都賀庭鐘『本朝水滸伝』等の歴史的記述の見られる上方の初期読本作品に注目し、それらへ影響を与えたと思われる近世中期怪異小説や通俗軍書、教訓書、思想書、史書、仮名草子について、その歴史的記述、思想・説話的な面からの影響について考察する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

- ① 湯浅佳子、『曾呂里物語』の類話、東京学芸大学紀要、第 60 号、307 頁～330 頁、2009、査読無し
- ② 湯浅佳子、怪異説話の展開—『曾呂里物語』と『御伽物語』—、日語教育与日本学研究論集、第 3 号、189 頁～202 頁、2008、査読無し
- ③ 湯浅佳子、『曾呂里物語』二話、近世部会会報、第 2 号、20 頁～21 頁、2008、査読無し
- ④ 湯浅佳子、『曾呂里物語』異板二種について—『目覚物語』と大妻本『曾呂里物語』—、東京学芸大学紀要、第 59 号、171 頁～205 頁、2008、査読無し
- ⑤ 湯浅佳子、『旬殿実実記』と『南総里見八犬伝』、近世部会会報、第 1 号、1 頁～2 頁、2007、査読無し

〔学会発表〕（計 1 件）

- ① 湯浅佳子、近世初期怪異譚の展開—『宿直草』を中心に—、近世後期小説の様式的把握のための基礎研究第 8 回共同研究会、2007. 12. 23、国文学研究資料館

〔図書〕（計 5 件）

- ① 湯浅佳子、花田富二夫、大久保順子、柳沢昌紀、東京堂出版、仮名草子集成第 45 巻、2009、
- ② 湯浅佳子、小川武彦、深沢秋男、岩田書院、浅井了意全集仮名草子編 1、2007、101 頁～317 頁、488 頁～491 頁
- ③ 湯浅佳子、大高洋司ほか 7 名、笠間書院、読本事典—江戸の伝奇小説—、2008、54 頁～59 頁、61 頁～64 頁、74 頁～77 頁
- ④ 湯浅佳子、三弥井書店、南総里見八犬伝名場面集、2007、1 頁～256 頁
- ⑤ 湯浅佳子、黒石陽子ほか 15 名、東京堂出版、2006、38 頁～39 頁、141 頁、162 頁～163 頁、172 頁～173 頁、222 頁～223 頁、275 頁～276 頁